

地域福祉活動情報紙

つながり

お弁当お届けします！おまち堂

～社協と施設法人とのコラボ事業～



※配達時にはマスク着用など感染対策を講じて実施しています

“おまち堂”ってどんなサービス？

“おまち堂”は、町内に住む高齢者を対象に、栄養バランスのとれたお弁当をお届けするサービスです。

これは、小山町社協と社会福祉法人寿康会との「“おまち堂”コンソーシアム」が行っているコラボ事業です。

このサービスは、要支援1・2または事業対象者の方を対象として町の補助を受けられるため^(※)、実費負担が軽減されます。

※補助対象には条件があります



“配食だけ”ではありません

町内在住のボランティアさんが、ご利用者宅の玄関先までお弁当をお届けします。

“おまち堂”のサービスは配達に加え、ご利用者の生活状況や健康状態の確認をする「見守り機能」も持ち合わせています。

“おまち堂”のボランティアさんの声は次のページへ→

見守りも配達時の大切な役割

調製されたお弁当を受け取り、ご利用者のご自宅に配達します。配達の際には、お声がけをして、ご利用者の体調や様子を伺います。緊急時には担当職員に連絡します。



ご利用者に配慮した調理で

栄養だけでなく、具のかたさや大きさにも配慮したバランスのとれた食事を心がけています。また、おかゆや減塩・糖尿病にも対応しています。

食で健康と地域を見守る “おまち堂” ボランティアさんの声



用沢 丸尾 久美子 さん

自分も手伝えるかも？
地域の支えとなる配食ボランティアさん
お待ちしております！

ボランティア募集中！

活動時間帯はおおよそ11時30分から13時までです。
ボランティアは登録制で、研修を受講していただく
など条件があります。詳細は担当者まで。



谷戸 湯山 智博 さん

地域とのつながりを求めて

定年を機に福祉にかかわるお手伝いができれば…と思ったのがボランティアを始めるきっかけでした。家にいると誰とも話さないことが多いのですが、配達で出会うご利用者との交流が楽しく、活動の励みにもつながっています。

お互いのお声がけが元気の印

お弁当をお届けにあがる時にご利用者に必ずお声がけをするのですが、帰り際に「ありがとう、気を付けて帰ってね」と声をかけてもらえると、とても安心します。そんな何気ない交流を通じて私も元気をもらっています。

R3 冬季フードドライブ終了！感謝もうしあげます



今回は合計56.2kgのご支援をいただきました

次回の開催（R4夏季）は8月です
「フードバンクふじのくに」
<https://fb-fujinokuni.org/>



1月4日から1月31日にかけて行われた「冬季フードドライブ」にご協力いただきありがとうございました。個人や各団体からカップ麺やお菓子など多くの食料を提供していただきました。

集まった食料は、さまざまな理由で食料を必要としている方にフードバンクふじのくにを通じて提供されます。



期間以外でも募集します

食糧寄付で助かる方が多くいます。社会福祉協議会では、この期間に限らず食料寄付を受け付けています。引き続きご協力お願いいたします。

※ご提供いただく際には賞味期限をご確認ください。



つながる福祉をみつける

東日本大震災から 11 年
誰でもできる“地域防災”をはじめませんか



復興を支えた多くの力

2011年3月11日に発生した東日本大震災から11年が経過しました。

地震による大津波で宮城県や福島県の沿岸部では多大な被害を受け、今もなお被災地では生活の再建に向けての復興作業が続いています。復興の一助として災害ボランティアの力は大きく、震災当時は多くのボランティアが活躍しました。

風化させず次の世代へ「Voice from 3.11」

長きにわたる復興の裏には「記憶の風化」が存在し、それは私たちの“防災に対する意識の低下”にもつながる恐れもあります。

震災から10年を節目として立ち上げたサイト「VOICE From 3.11」では、被災者や避難者だけでなく、支援者たちの多くの「言葉」を集め紹介しています。今一度「復興とはなにか」を考える機会にしていいただければと思います。



「Voice from 3.11」のURL
<https://voicefrom311.net/>

防災はいつもの日常から

○身近な場所でどんな危険があるかを考える

住居の周り、通学路など土砂崩れや洪水の恐れのある場所を普段から知る

○家の中、部屋の中の危険を減らす

家具の固定やガラスの飛散防止対策、枕元に常時避難グッズを用意する

○正しい防災情報を収集して、状況把握ハザードマップの確認

富士山ハザードマップが令和3年3月に改訂されました

○近所づきあいを大切に

高齢者や障がい者の方にお声がけができるような環境づくりを

○家族ではなす

避難訓練だけでなく、避難を必要としない地震や雨が降った時を“訓練のきっかけづくり”にして難時の手順について家族で話す

○救急箱や非常食の備蓄（ローリングストック）

ケガの応急処置や、非常時の持ち出し袋の中身を確認。非常食で賞味期限が近いものは早めに消費して補充をし、時々非常食を食べる習慣をつける



ご近所付き合いも大切に

参考ホームページ

小山町「災害に備えて」https://www.fuji-oyama.jp/kurashi_10.html

天気.jp「知る防災」<https://tenki.jp/bousai/knowledge/>

NHKハートネット「知ってほしい 障害者や高齢者の被災時の悩み」

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/107/>

農水省「災害時に備えた食品ストックガイド」<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/guidebook.html>

経験から学ぶ



研修の様子（令和元年度）

小山町社会福祉協議会（小山町社協）は、災害時に災害ボランティアセンター（災害VC）を立ち上げます。災害VCは、円滑にボランティア活動が行えるよう運営するものです。

小山町社協では災害VCに携わった関係者による支援活動の事例報告をもとに、地域福祉活動やボランティア活動の再認識することを目的とし「小山町災害対応研修会」を毎年開催しています。

今年は1月29日にオンラインにて開催し、近隣市町から参加者が集まりました。

★次号のリレーエッセイはワークホームアップル施設長の松田直樹さんです。お楽しみに

私の仕事は、生活の中で困りごとを抱えている方の相談に応じる業務です。最近は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済面を含めた生活環境が変化し、困りごとを抱えている方からの相談も増えています。

私が福祉の仕事に携わりたいと思ったきっかけは、保育士として仕事をしていた母に代わり、祖母と多くの時間を過ごす中で祖母のお茶飲み友達に「かわいがかつてもらった経験と、中学生の時に福祉施設で職業体験をしたことです。

私が相談業務で大切にしていることの一つに、ある研修で講師が話していた「人生の分岐点で舵を切るのは相談者、相談員の仕事はその舵を切るサポートをすること」という言葉があります。相談者自身の「自己決定」を支援し「自立」に繋げていくことが大切だと思いました。

お困りごとは小さくてもありますが、当たり前前の生活が一変してしまう、ということには誰にでも起こり得ることです。困りごとがある方は社会福祉協議会にご相談ください。そして、地域の中でも周りに目を向けてくれると嬉しいです。

私が福祉の仕事に携わりたいと思ったきっかけは、保育士として仕事をしていた母に代わり、祖母と多くの時間を過ごす中で祖母のお茶飲み友達に「かわいがかつてもらった経験と、中学生の時に福祉施設で職業体験をしたことです。

私の仕事は、生活の中で困りごとを抱えている方の相談に応じる業務です。最近は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済面を含めた生活環境が変化し、困りごとを抱えている方からの相談も増えています。

「自立に向けて 私たちができること」

リレーエッセイ

その8



小山町社会福祉協議会
小山町権利擁護支援センター
専門員 兼 相談支援員・推進委員

五十井 真琴さん

心配ごと 毎週木曜

4月7日、14日、21日、28日
5月12日、19日、
6月2日、9日、16日、23日、30日

介護相談 毎週火曜

4月5日、12日、19日、26日
5月10日、17日、24日、31日
6月7日、14日、21日、28日

法律相談 毎月1回 受付枠3組（要予約）

予約はお早めに
4月13日(水)（受付開始3月10日）
5月18日(水)（受付開始4月11日）
6月8日(水)（受付開始5月10日）

出張心配ごと相談 受付枠2組（要予約）

5月26日(木) 13:00～
北郷会場

福祉総合相談所開設予定日

あたたかいご寄附を ありがとうございます

11月1日～12月31日受付分（敬称略・順不同）

ブルタブ

池谷美恵子、鈴木モリ子、喜多商会、千葉由香、岩田則美、山口智子、鳥飼昇、小山町民謡愛好会、小山婦人会、岩田和男、おぎしましゅう、渡辺テル代、原田さい子、須走婦人会、小林洋子、小見山すみゑ、上原紀子、渡部誠、岩田トキ子、ほとざわっちおかめひよっこ、久保田榮子、株式会社ショーテクノス富士小山事業所、ギャッツビーゴルフクラブ、匿名6名

使用済み切手

スルガ銀行小山支店、村井歯科、北郷婦人会、小山町民謡愛好会、小山婦人会、岩田和男、須走婦人会、小林洋子、ほとざわっちおかめひよっこ、東海カーボン(株)富士研究所、日幸産業(株)、匿名4名

未使用はがき・書き損じはがき

北郷婦人会、小林洋子、久保田榮子、匿名5名

食品・介護用品

御殿場小山中核農業者協議会水稻部会、匿名2名

現金

有會澤工業、高田節夫、匿名4名

次回（第33号）の発行は6月15日です

社会福祉法人小山町社会福祉協議会

〒410-1311 静岡県駿東郡小山町小山75-7 小山町健康福祉会館2階

TEL.0550-76-9906/FAX.0550-76-9907

URL <http://www.fuji-oyama-wel.jp>

Email syakyo@fuji-oyama-wel.jp



この情報紙「つながり」は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用し発行しています。

また、各区役員の皆様のご理解とご協力により、小山町内の全戸に配布させていただいています。